

Snorkel高所作業車

S3226E

月例検査要領書



# はじめに

- ・高所作業車を事前に満充電にしておく。また充電器で満充電を確認したうえで電源ケーブルを抜く事
- ・検査前に以下のものをあらかじめご用意ください
  - ・テスター
  - ・比重計
  - ・複数サイズのレンチセット（モンキレンチでも可）
  - ・グリス
  - ・CRC等の潤滑浸透剤
  - ・パーツクリーナー
  - ・ウエス
  - ・その他バッテリー液など必要に応じてご用意ください

# 作業準備

# ①車体・車軸



車体や前後のフック、溶接個所に亀裂や割れが無いか確認

## 車体および走行装置

## ②タイヤ



前後のタイヤに亀裂や摩耗、取付ボルトに緩み等がないか確認

## 車体および走行装置



### ③油圧モーター



前輪内側、カバーの  
裏にあります



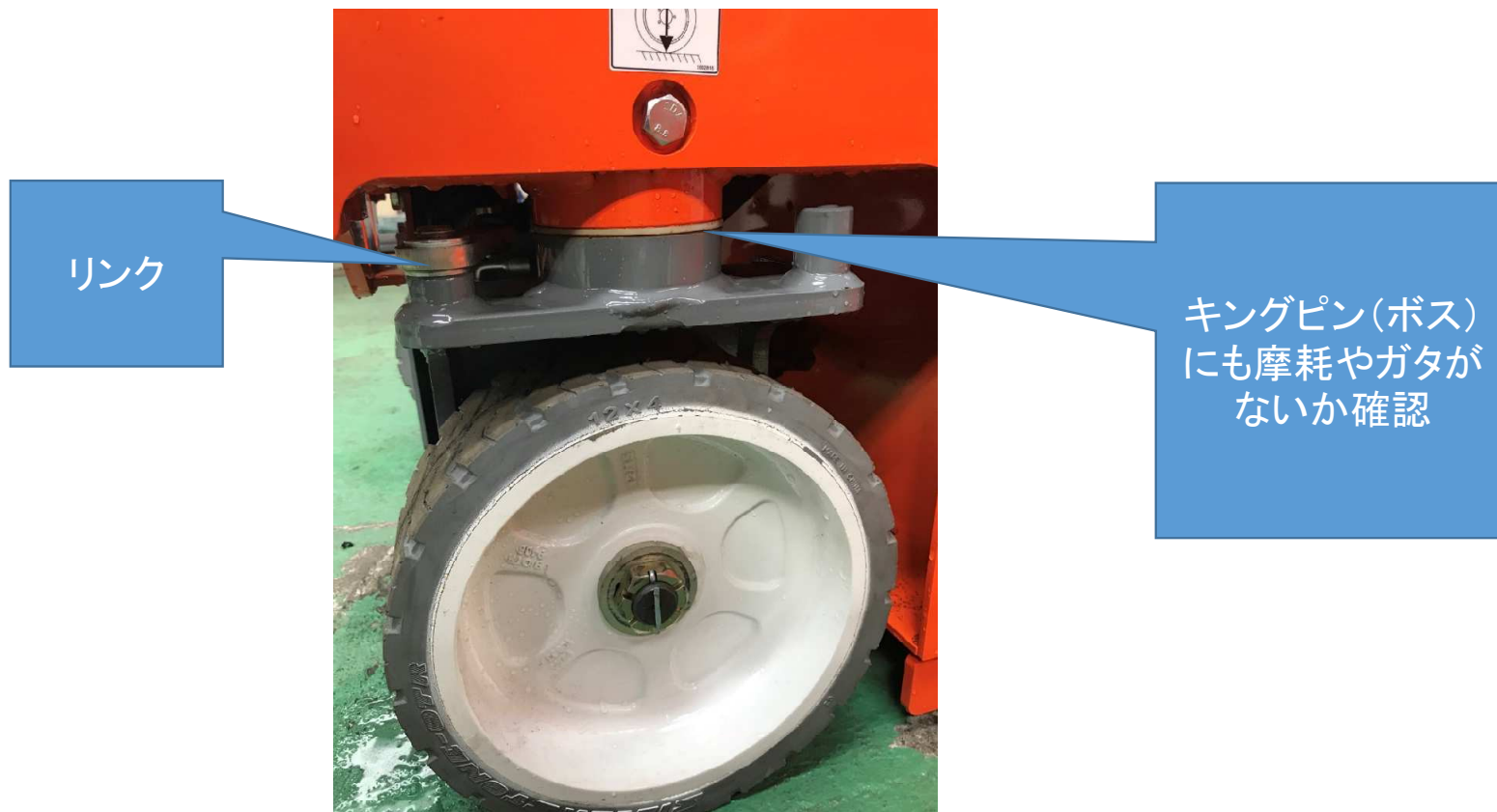
ホースの取付配管や  
モーター本体から漏れ  
等がないか



油の漏れやボルト緩み、汚れや錆がないか

## 車体および走行装置

## ④走行装置



リンク曲がりや破損、ピン摩耗等がないか

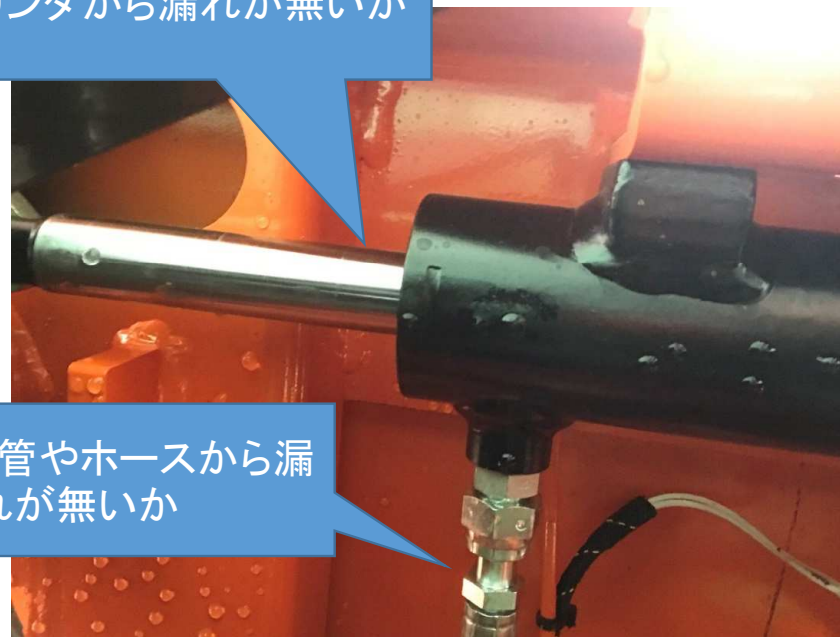
車体および走行装置

## ⑤かじ取り装置



フロントシャーシの裏側に  
シリンダがあります

シリンダから漏れが無いかな



ホース配管やホースから漏  
れが無いかな

シリンダの油漏れ、ピン摩耗、給油

## 車体および走行装置

## ⑥ブレーキ解除



ハンドポンプ

作動、バルブおよびハンドポンプの状態確認

・ブレーキ解除が正しくできるか取説に従って操作確認



ブレーキを解除する際は平坦な傾斜の無い場所で行う事。

タイヤに歯止めをかける等、逸走防止措置を講じる事。

## 車体および走行装置



## ⑦ポットホールプロテクタ



リフトを上昇させるポットホールプロテクタを動作させる



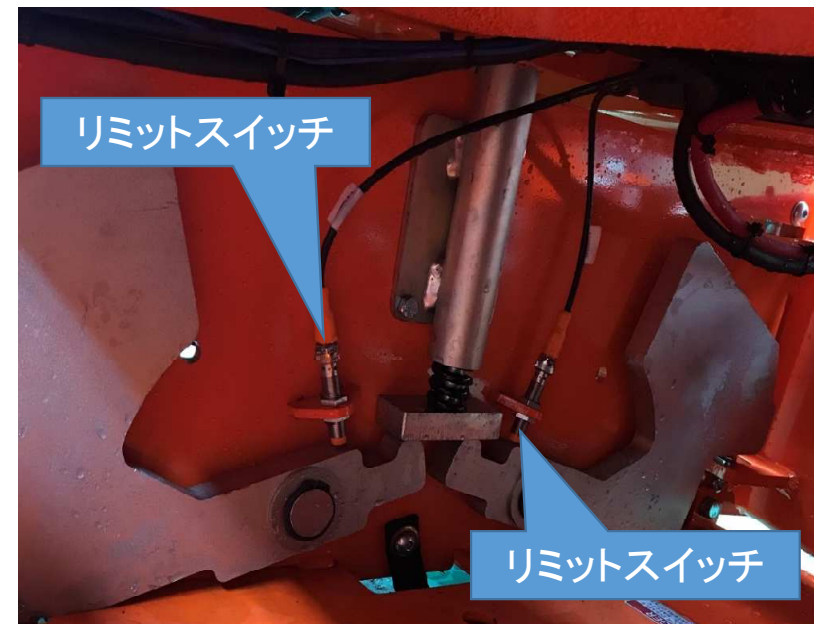
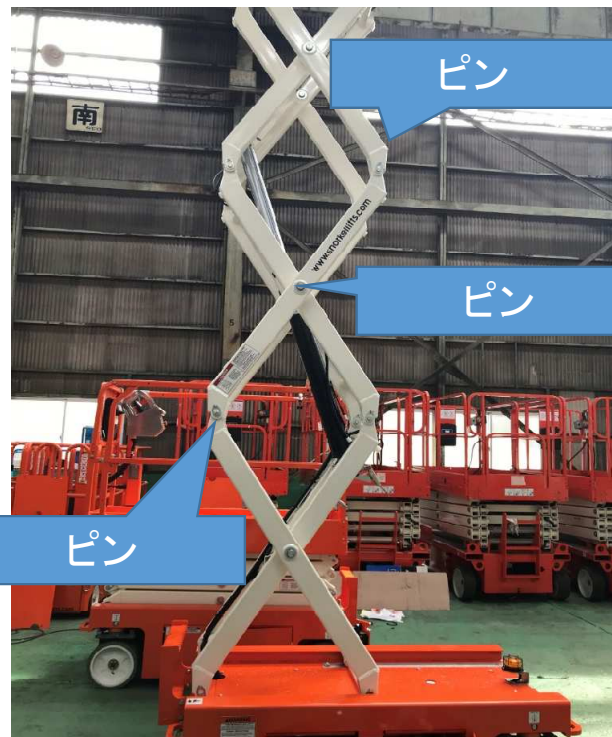
サイドのメンテナンスハッチを開け車体内部のリンケージを確認する  
(車体内部前方にあります)



リンケージに異常がないか確認する

## 車体および走行装置

## ⑧シザーリフト



変形、溶接破損、ピン摩耗、ボルトナット  
緩み、ローラー摩耗

・リミットスイッチ2つに損傷  
がないか

昇降装置



## ⑨シリンダ

シリンダ本体からの  
油漏れ

シリンダの取付

リンクピンの取付



・シリンダの取り付け状態の  
確認

・シリンダからの油漏れはな  
いか



作業床を上昇させて点検を行う  
場合、万が一に備え安全支柱を使  
用し挟まれ事故を防止する事

## 昇降装置

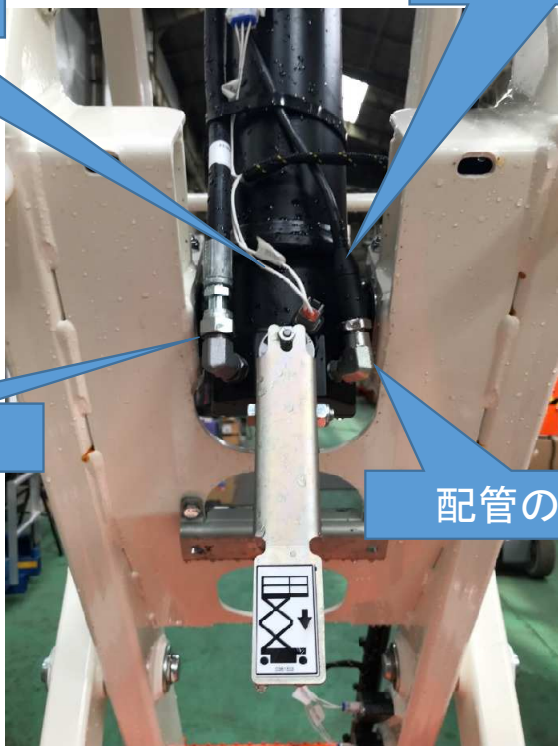
## ⑩配線、配管

配線に異常はないか

ホースに損傷はないか

配管の取付

配管の取付



・配線、配管、ホースに油漏れ、損傷等異常はないか



作業床を上昇させて点検を行う場合、万一に備え安全支柱を使用し挟まれ事故を防止する事

## 昇降装置

# ⑪フレーム



・作業床フレームに変形、溶接破損はないか。



昇降装置は適切に取り付けられているか。ガタ等ないか

## 作業床

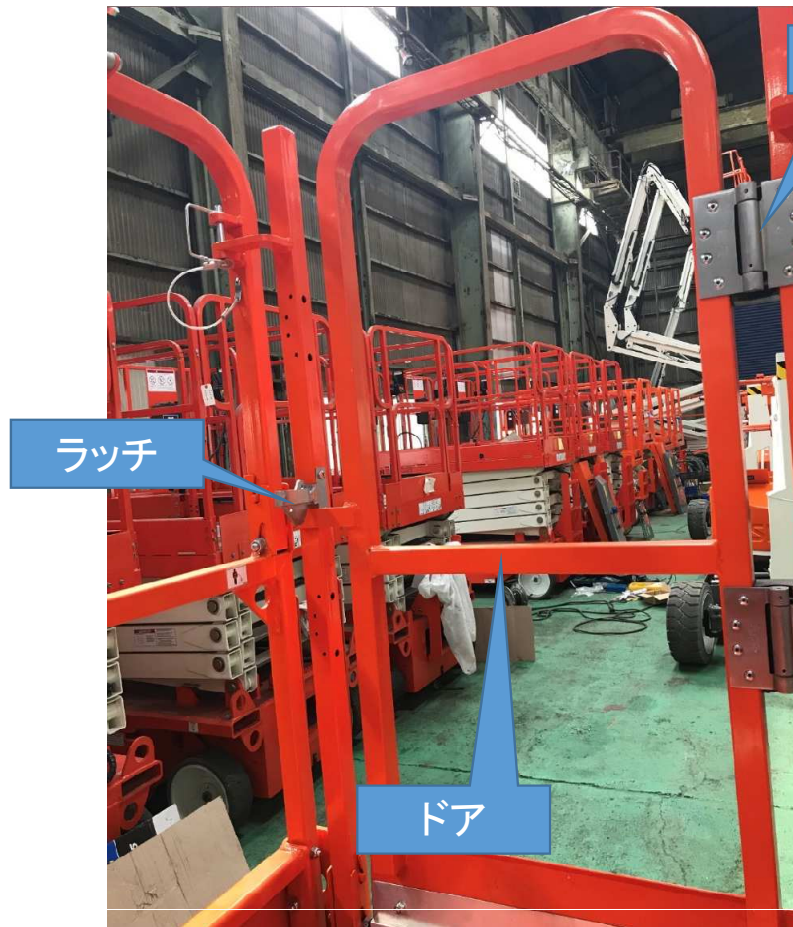
## ⑫手摺り



- ・手摺に変形、破損はないか
- ・ボルトナット緩みはないか
- ・中棧および幅木の破損変形はないか

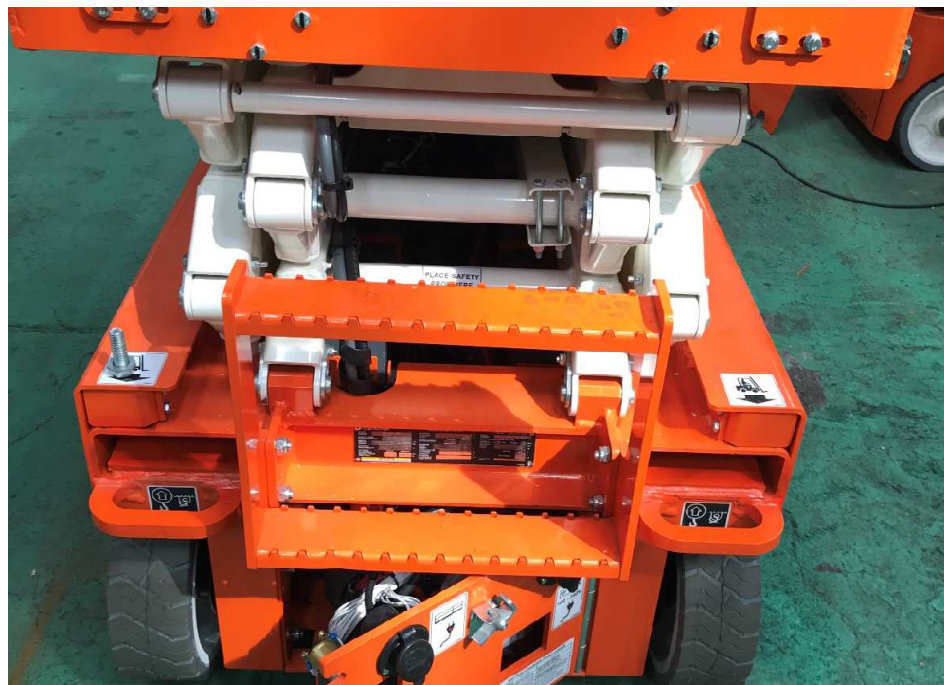


## ⑬ 出入口



- ・ドアに変形破損はないか
- ・ヒンジに変形破損はないか。確実に取り付けられているか
- ・ラッチに変形破損はないか。ドアを閉めた状態で確実にロックされるか

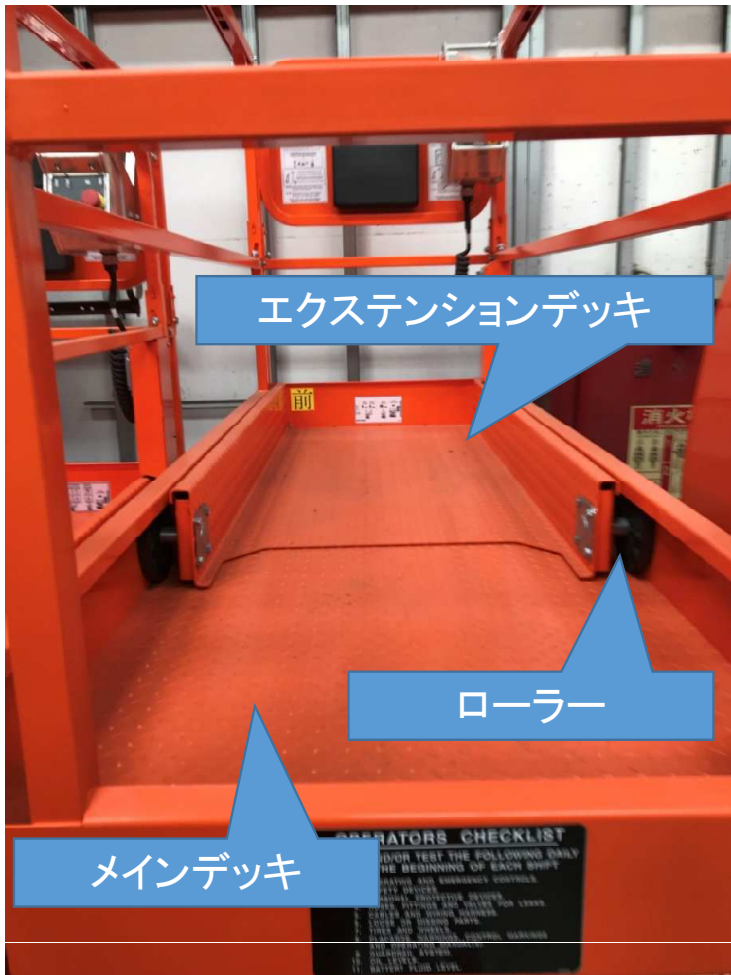
## ⑭ステップ・昇降設備



変形や損傷、ボルト緩み等はないか

作業床

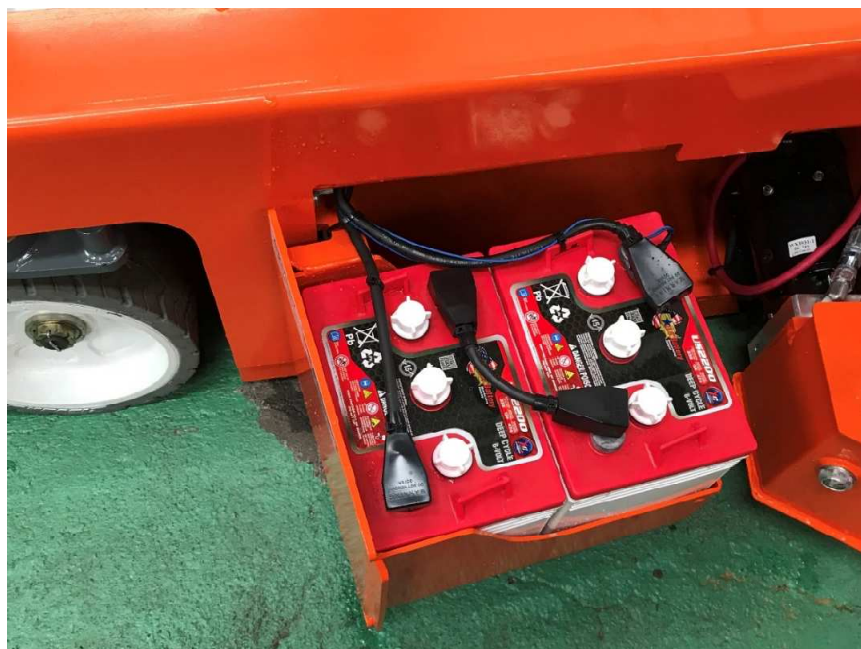
⑮メインデッキ ⑯エクステンションデッキ



- ・メインデッキ作業床に腐食、錆、破損はないか
- ・エクステンションデッキも同様に異常はないか
- ・エクステンションデッキのハンドルロックおよびガイドローラーに異常はないか

# 作業床

## ⑪ バッテリー



- ・バッテリー液量は適切か
  - ・バッテリー比重は適切か
  - ・端子緩み、腐食、変形はないか
- ※左右合計4個とも確認する事



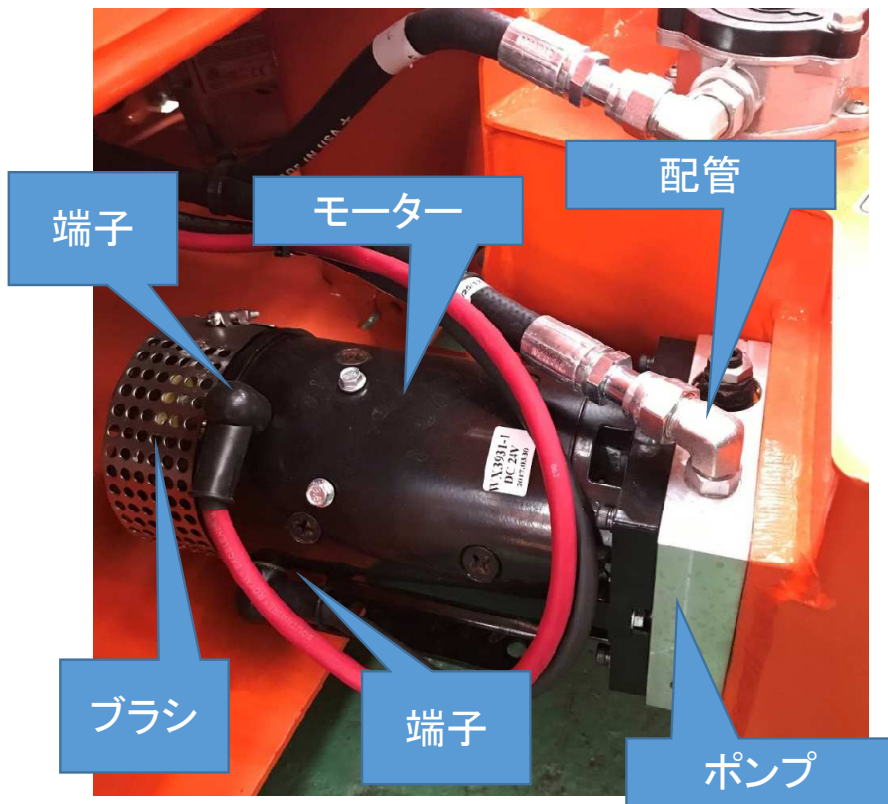
バッテリーに入っているバッテリー液には希硫酸が含まれるため、身体に触れた場合はすぐに洗い流すこと。



比重は満充電で1.27～1.28を目安とする



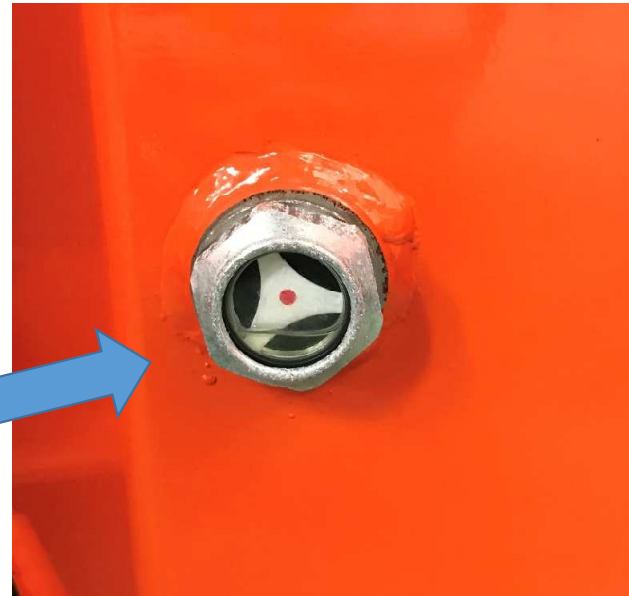
## ⑱ 直流モーター ⑲ 油圧ポンプ



- ・モーターの汚れ、ブラシ摩耗、端子緩みはないか
- ・ポンプの配管緩み、油漏れはないか
- ・モーターとポンプのつなぎ目、ポンプとタンクのつなぎ目から漏れはないか

メンテナンスハッチ内にある

## ②0作動油

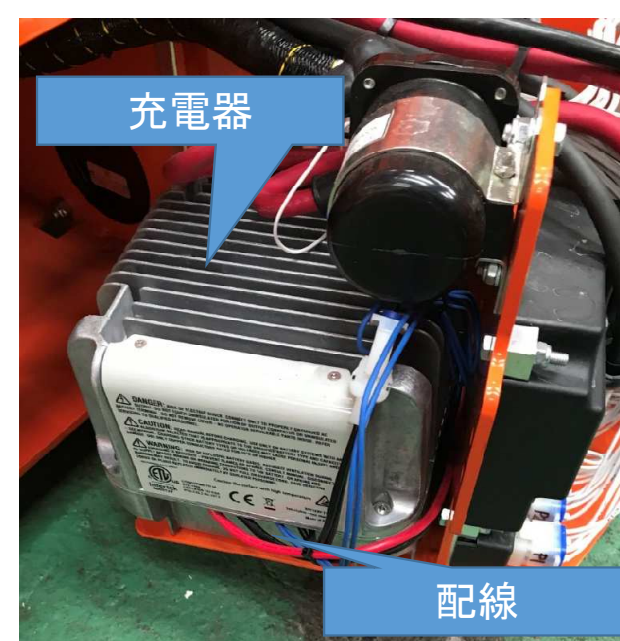


- ・作動油の量は適切か
- ・汚れ、漏れはないか
- ・フィルタ汚れはないか（年に一度交換推奨）

メンテナンスハッチ内にある

## 動力装置

## ②1 充電器



後部乗り込み口の下にある  
・ボルトを外すと開閉可能です

配線等に異常はないか  
充電器の動作に問題はないか

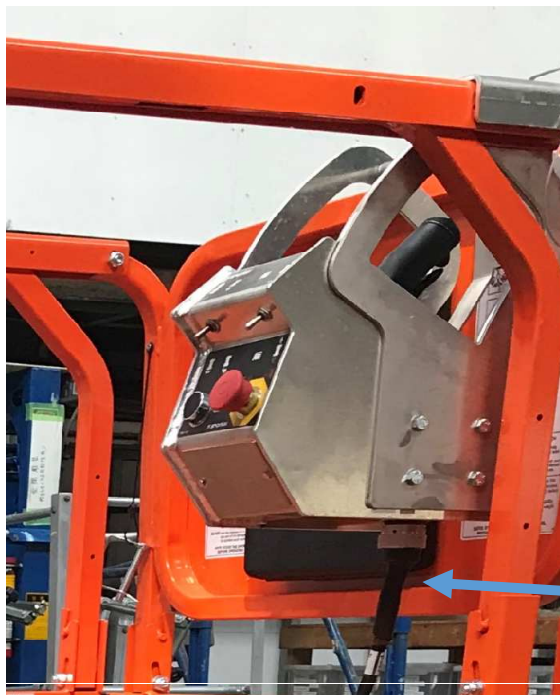
## 動力装置



## ②作業床操作盤



- ・盤/機器の汚れ、破損の確認



- ・配線の取付、断線等ないか確認

配線とコネクタ

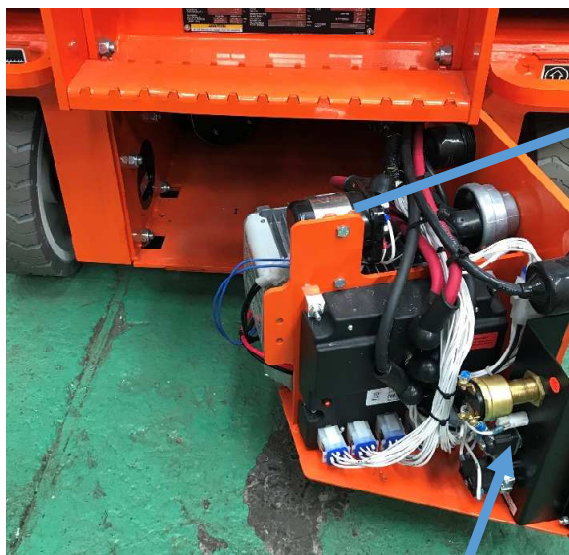
## 操作・制御装置



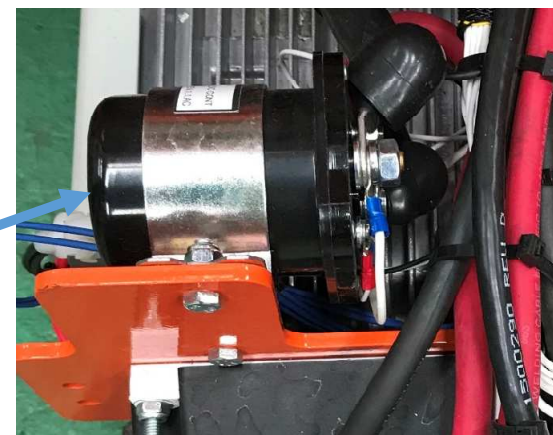
## ②③車体側操作盤 ②④リレー



・盤/機器の汚れ、破損の確認



配線とコネクタ

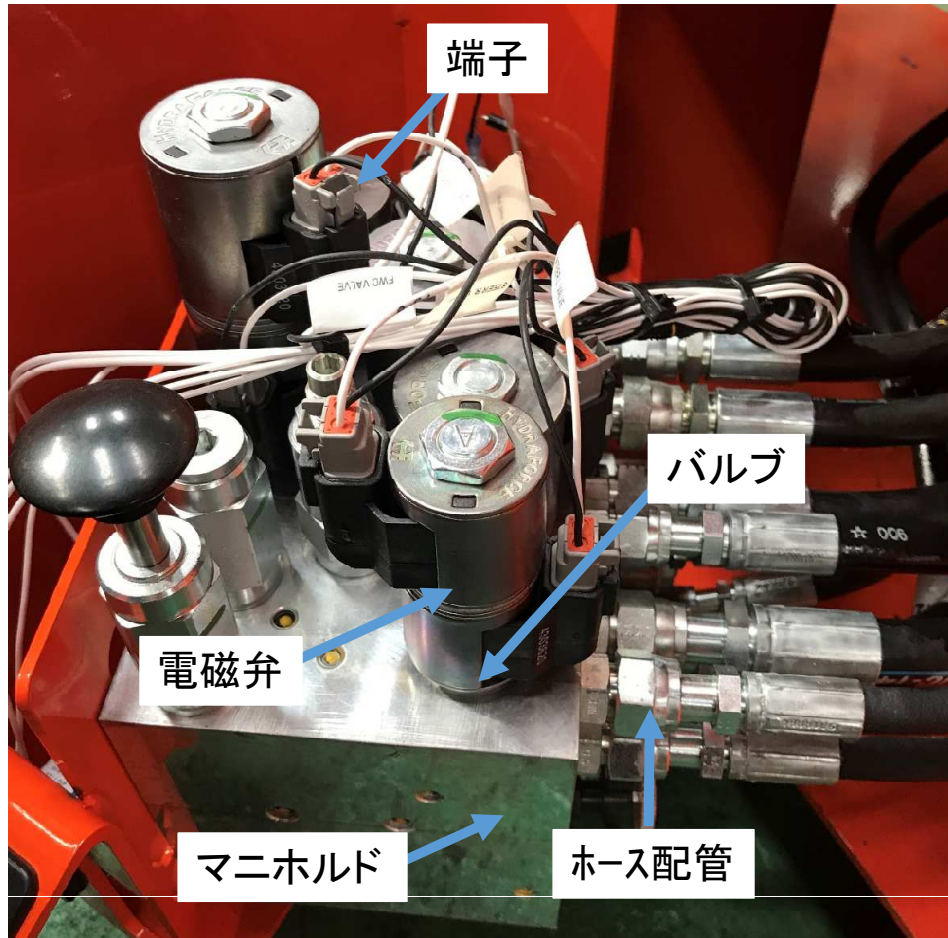


リレー

・配線の取付、緩みや断線等ないか確認

# 操作・制御装置

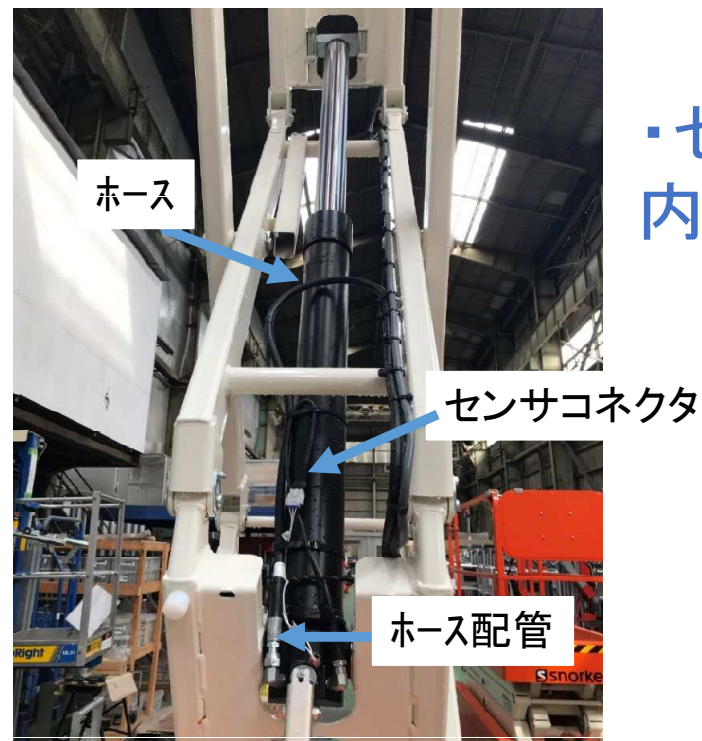
## ②⑤油圧マニホルド ②⑥電磁弁



- ・汚れ、油漏れ、端子緩みが無い
- ・各バルブのマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認
- ・油圧ホース配管のマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認
- ・電磁弁の端子抜け/緩みの確認

## ②⑦配線配管 ②⑧各種センサ

- ・各部油圧ホース/配管の損傷、油漏れ等はないか
- ・各部センサ端子に異常はないか



・センサはシザーズ内側にもあります

操作・制御装置



## ②9 銘板



銘板

- ・銘板に汚れは無い、内容は判読できるか



## ③⑩傾斜角規制装置 ③⑪過積載規制装置

### 傾斜角規制装置

傾斜地やジャッキを使って車体を傾斜させ、機体が上昇しない事を確認します。

### 過積載規制装置

作業床に定格+10%の積載荷重を掛けた状態で上昇しない事を確認します。

## ③②安全弁 ③③走行警報装置

### 安全弁

※過積載をセンサで検出しないタイプの場合

- ・作業床に最大積載+10%程度の荷重を載せます。
- ・モーターは動作するが、圧力がかからず作業床が上昇しない事を確認します。

### 走行警報装置

- ・走行時アラームが設定されている機体では、走行操作時に正しく鳴動するか。またホーンが正しく鳴動するか
- ・走行時アラームが設定されていない機体では、ホーンが正しく鳴動するか

## 安全装置作動確認

## ③④非常停止装置 ③⑤緊急降下装置



- ・ボタンを押して動作がしなくなるか
- ・ボタンを引き出して動作できる状態になるか



- ・緊急降下装置を操作し、降下ができるか確認



身体を車体で挟まないように注意

## 安全装置作動確認

## ③⑥ 走行速度規制装置

- ・作業床を上昇させる
- ・リフトから走行に切り替える
- ・走行操作を行い、低速にしかならない事を確認する



安全装置作動確認



## ③7作業床自然降下

### 自然降下

下部操作装置にてリフトを上昇させる。

シリンダにマーキングする等、降下した場合に確認できるようにしておく。

1～2時間程度時間をおいて降下が無いか確認する。



## 安全装置作動確認

## ③⑧上昇 ③⑨降下 ④⑩クッション降下



- ・上昇：上昇操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・降下：降下操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・クッション降下：一番下まで降り切る際に問題はないか。

動作確認

## ④1高速走行 ④2低速走行 ④3ブレーキ作動 ④4制動



- ・高速走行: 作業床格納状態で高速走行となるか
- ・低速走行: 作業床上昇状態で低速走行となるか
- ・ブレーキ作動①: 走行操作入力でブレーキが解除されるか(引きずる感じはないか)
- ・ブレーキ作動②: 走行操作解除でブレーキは自動的にかかるか
- ・制動: ブレーキが動作してから車体はすぐに止まるか

## 動作確認

## ④5 操向



- ・走行時にステアリング操作ができるか
- ・停止時にステアリング操作ができるか

## 動作確認



**THANK YOU**

**Any Questions?**



ご不明な点は下記へご連絡ください

エイハン・ジャパン株式会社  
東京都港区芝浦3-15-2山本ビル3F

Tel : 03-5765-6841

Fax : 03-5765-6840

